

ながおか

建設だより

第86号

平成31年1月15日発行

一般社団法人
長岡市建設業協会

長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206代
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会
印刷所 北越印刷株式会社

新年にあたって



一般社団法人

長岡市建設業協会

会長 星野 光雄

新年明けましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年は、日本各地で甚大な
災害が発生し、その応急復旧
や復興工事に建設業界が寄与
しています。当協会としても、
長岡地域の安全・安心を守る
「地域の守り手」として、地
域社会の発展に貢献してまい
りたいと考えております。
さて、建設業界の課題は、
担い手確保であり、その担い
手不足を克服するためにも、
週休2日制の実現といった長
時間労働の是正や現場で働く
技術者や技能者の処遇を改善
する働き方改革が求められて
います。

これらの改革を実現して行
くためには、公共事業予算の
確保をはじめ、施工時期の平

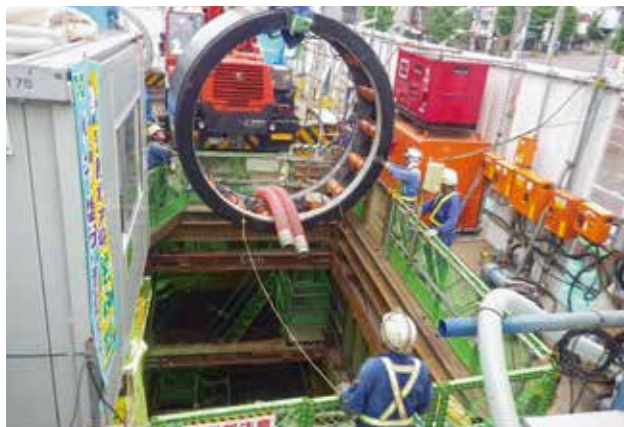
準化や適正な予定価格の設定
と適切な設計変更などが重要
となります。

特に、繁忙期と閑散期、降
雪時期などを踏まえた施工時
期の平準化は、生産性の向上
と品質の確保とともに、業務
環境の改善が図られ担い手の
確保にも繋がります。

今後とも厳しい経営環境が
予想されますが、建設業の魅
力向上と持続性の確保に向け
て、長岡市をはじめ関係団体
と一丸となり「地域力の強化」
に取り組んでまいりますので、
皆様のご支援とご協力をよろ
しくお願い申し上げます。

結びに皆様のますますのご
発展とご多幸を心から祈念い
たしまして、ごあいさつとい
たします。

— 地域社会の発展に貢献 —



(提供：長岡市土木部より)

新年のご挨拶



長岡市長
磯田 達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長岡市建設業協会の皆様におかれましては、日頃から、市民の安全で安心な暮らしを支え、迅速かつ的確にご対応いただき、心より感謝を申し上げます。

長岡市では、定住人口増加に向け、雇用環境の向上や活力を生み出すまちづくりに力を注いでいます。現在、長岡北スマートIC南側に、流通産業団地を造成していますが、企業ニーズを捉えた取り組みが実を結び、企業から分譲面積を上回る引き合いがあります。将来的には、左岸バイパスにも連結し、さらなる発展が期待されます。

また、国営越後丘陵公園に近接する大積地区においては、「大積スマートIC（仮称）」と「長岡ニュータウン連絡道路」の整備に

向けた調査検討を進めています。市域全体の経済活性化や観光振興のため、早期の事業化に向けて取り組んでまいります。

さて、東京オリンピック・パラリンピックの開催まで、残すところ一年半となりました。この好機を捉え、観光産業の発展を図るため、長岡インターチェンジ付近に道の駅「ながおか花火館（仮称）」の整備を進めています。今春には、花火シアターをはじめ、特産品販売、フードコート等を備えた建築施設の工事に着手し、東京オリンピック開幕前のオープンを目指します。

市民が夢あふれる未来図を描くためにも、引き続き地域インフラの着実な整備や維持管理を進めていきますので、貴協会のますますのお力添えをお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとって幸多い年となるようお祈り申し上げ、年頭のあいさついたします。



新年のご挨拶



長岡労働基準監督署長
野田 恭義

明けましておめでとうございます。長岡市建設業協会会員の皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。旧年中は、当署の業務運営に対しまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月に「働き方改革関連法」が成立し、時間外労働の上限規制等が、本年4月1日から順次施行されます。引き続き当署窓口での相談、皆様の御要望により職員を派遣して相談やお悩みにアドバイス等を行う「訪問支援」も実施しておりますので、積極的に御活用いただきますようお願いいたします。「働き方改革」は、長時間労働による過重労働の防止に留まらず、適正な工程の管理等を行い、時間外労働の削減や有給休暇の取得促進等によるワーク・ライフ・バランスの実現、女性・

若者の活躍促進など、取組事項は多方面に亘っていますが、人手不足感の中で、人材の確保にもつながりますので、建設業の更なる発展のためにも、積極的な取組をお願いいたします。

当署管内における建設業での労働災害は、昨年11月末現在で、死亡災害が2件（一昨年0件）発生したという憂慮すべき状況となりました。本年も、第十三次労働災害防止計画の目標である「死亡者数をゼロ」の達成を当署の最重点課題として、各種対策に取り組みでまいりますので、会員事業場の皆様におかれましては、死亡災害の撲滅に向けた取組を経営トップが自ら率先し、労使が一丸となり進めていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴会並びに会員事業場の皆様の益々の御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



長岡警察署長

山本 純 市

謹んで新春のお慶びを申し上げます。長岡市建設業協会の皆様からは、警察活動各般にわたり深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年、長岡警察署では振り振り込め詐欺や交通死亡事故抑止を重点とした住民の皆様身近な犯罪の防止に取り組み、職務質問による特殊詐欺事件被疑者の逮捕や外国人による組織的窃盗事件を検挙しました。

特殊詐欺につきましては、各種対策を推進し被害防止に努めた結果、前年と比較して被害件数、被害額とも減少しました。しかしながら長岡署管内の被害件数は依然として県内トップクラスであり、引き続き被害防止対策を推進してまいります。昨年は、ハガキを使った架空請求詐欺の手口が急増しました。ハガキは「消費料金未

納最終通知」などと記載され、「法務省管轄支局民間訴訟通達センター」などの差出人をかたつています。また、最近では封書を使つた同様の手口も確認されており、今後も犯人の検挙と被害防止に向けた対策を強力に推進いたします。

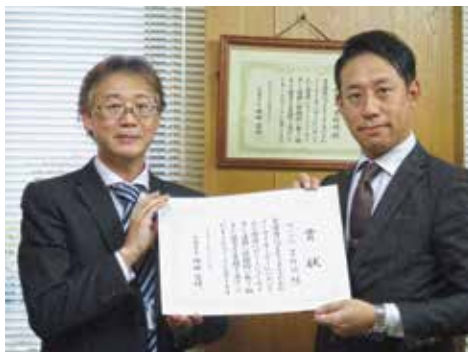
交通事故につきましては、前年に比べ減少したものの、依然として高齢者事故の割合が高く、高齢者が被害者となつたり、また、加害者となるなど、交通事故防止には一層高齢者対策が必要であると思われまふ。警察では、パトカーの赤ランプ活動や交通指導取締りを強化する一方、高齢者宅の個別訪問やスーパーマーケットでの高齢者への直接指導や高齢者の会合などにおける事故防止指導などの活動に取り組んでまいります。

長岡警察署では、本年も住民の方が安心して暮らせる安全な地域社会の実現に向け、署員一丸となり全力でとりくんでまいりますので、より一層のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

結びに、長岡市建設業協会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

ノーマイカーデー表彰

2018年がおかノーマイカーデーが七日間（平成三十年九月十日（十六日））実施され、優良な事業所として十事業所が選定され、その内、当会員である（株）星野組と（株）山崎組も表彰されました。



▲（株）星野組



▲（株）山崎組

環境美化活動

越路地域では、十月七日に「こしじ秋まつり」会場の清掃活動を予定していましたが、台風二五号の接近で秋まつりが開催されなかったため、美化活動も中止となりました。

今後の予定としては、栃尾地域で平成三十一年二月三日に開催される「とちお遊雪まつり」の会場設営に、山古志地域では、三月九日に開催される「古志の火まつり」の清掃活動に地域の会員が参加する予定です。

会員の異動について

代表者の変更

会社名	変更前	変更後	変更日
椿建設株式会社	椿 イツ子	吉川久美子	平成30年10月11日
株式会社晴耕舎	深見政英	松本克幸	平成30年11月22日

※会員数（平成31年1月1日現在）79社（正会員70社、準会員9社）

会員研修旅行 名古屋・伊勢

今年度の会員研修旅行は、十月十八日（木）から二十日（土）までの三日間、四十二名が参加し、「名古屋城・本丸御殿」の見学をはじめ、「伊勢神宮」、「熱田神宮」や「岡崎城」と「ミツカン・ミュージアム」、「南極観測船ふじ・海洋博物館」などを訪ねてきました。



今年公開の真新しい本丸御殿

名古屋城・本丸御殿は、尾張藩主の住居かつ藩の政庁として慶長二十年、徳川家康の命によって建てられました。昭和五年には、天守閣とともに国宝に指定され、屈指の名城として知られていましたが、昭和二十年の空襲により建物の大部分が焼失しました。

復元が待ち望まれた本丸御殿



日本人の心のふるさと 伊勢神宮(内宮・外宮)

伊勢神宮は、二千年の歴史を有し、内宮・外宮をはじめ百二十五の宮社からなる日本人の心のふるさとです。は、平成二十一年から復元工事が始まり、ようやく六月八日に完成公開されました。さらびやかで真新しい本丸御殿にただ圧倒されて、名古屋城を後にしました。

伊勢神宮は、二千年の歴史を有し、内宮・外宮をはじめ百二十五の宮社からなる日本人の心のふるさとです。

るさです。

すがすがしい空気に満ちた森、天空に向かって伸びる千古の杉の力強さといひ、二千年の昔から変わらぬ見守ってくださる「お伊勢さん」は、季節を問わず、折々の



豊かな表情で、迎えてくれました。

内宮では、五十鈴川にかかる宇治橋を渡り、鳥居をくぐり、木漏れ日のさす玉砂利の参道を進むうちにいつしか心洗われ、穏やかな心で恒久平和を願い参拝しました。

南極観測船ふじ

南極観測船ふじは、昭和四十年から十八年間南極で活躍した砕氷船で、昭和六十年から名古屋ガーデンふ頭に永久係留されています。現在も、当時の状況を再現した船内の様子や南極観測の意義が紹介されているので、南極について深く学ぶことができる施設です。



このほか、全体に距離が長く、谷越えや池越えなど変化に富んだ中部屈指の名門コースの「南山カントリークラブ」で、ゴルフを楽しむ、また、三重県と滋賀県の県境にある日本二百名山の「御在所岳」に登山するなど、多くの体験と思い出に残る有意義な研修旅行となりました。



長岡市技術職員（長岡市建設技術協会）との意見交換会

長岡市技術職員（長岡市建設技術協会）との意見交換会を、十一月二十日（火）なおか市民センターで開催しました。



等のコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことを目的に実施しました。

会員四十三名と長岡市技術職員三十七名が、土木と舗装並びに建築の職種ごとにそれぞれ七名から九名の十のグループに分かれ、設計・発注・契約、施工管理・工事監督・工事検査などについて、これまで担当した工事で困ったこと

や疑問に感じたことのほか、改善に向けた提案などの意見交換が活発に行われました。

和やかな雰囲気の中で、普段疑問に思っていることやなかなか聞けないことをお互いに話すことができて大変有意義であったといった感想が寄せられました。また、今後もこのような意見交換会を実施してほしいという要望もありました。今回の意見交換会での議論や成果などをこれからの業務に活かしていきましょう。



土木・建築工事施工指導会

工事現場の安全管理を徹底し事故の防止とともに、技術力の向上と効率的で質の高い施工を目指しましょう。

「土木・建築工事施工指導会」を、八月二十二日（水）、長岡市立劇場・大会議室で開催しました。長岡市から、三本工事検査監、契約検査課の石橋総括副主幹、佐藤総括副主幹、荒川工事契約係長を講師に迎え、当協会の工事担当者等六十八名が出席しました。各工種別の平成二十九年度の工事成績と建設現場における事故防止のほか、工事契約の変更点（概算数量発注方式の試行運用、部分払いの対象範囲の拡大、低入札価格調査制度（試行）の導入）について説明がありました。

今後とも工事現場の安全管理を徹底し事故の防止とともに、技術力の向上と質の高い施工を目指しましょう。



会員親睦 ゴルフ大会



上位入賞の皆さん（星野さん、金山さん、齋藤さん）

会員親睦ゴルフ大会が、猛暑日の八月二十一日（火）に会員二十八名が参加して、長岡カントリー倶楽部で開催され、金山忠一さんが優勝しました。

上位入賞者は次のとおりです。

優勝 金山忠一さん（金山組）

準優勝 星野祐一郎さん（星野組）

三位 齋藤和幸さん（中越興業）

ベストグロス賞

伊藤芳也さん（伊藤建設）

建築工事安全パトロール

良好な現場環境の維持と安全管理の徹底を！



技術委員会による「上川西小学校校舎増築工事（長岡市下柳二丁目地内）の安全パトロール」を、長岡地域に大雨警報が発令中の八月二十八日（火）、長岡市教育施設課能勢建設担当係長と五十嵐技

師、長岡労働基準監督署下村監督官、建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会の渡邊安全指導者の皆さんから参加いただき実施しました。

工事現場では、児童下校時刻を

安全看板に開示した関係者への周知や、大型車の搬入等を休校日に設定した施工計画の取組み等で児童の安全に配慮した工事運営がなされていました。

また、記録的な猛暑の中、作業員の熱中症対策をどのように実践しているか、具体的な取り組み事例を交えながら意見交換が行われました。



ベストグロス賞の伊藤さん



団体優勝の皆さん(小林さん(大幸建設)、金山さん、星さん(椿建設))

好物

(株)多田組 多田博昭

私は無類のカレーライス好きだ。

「カレーライスは飲み物だ。」と言った人がいたが、両手を挙げて賛同したい。要するに、飲み物だと思えるほど、たくさん食べられるし、美味だということなのだ。私は解釈する。カレーうどん、スープレカレー、カレーパン、挙げればきりが無い程、カレーは日本の国民食と言っているだろう。しかし、カレーには「ライス」だ。そして私の大好きなカレーライスは家庭で作る野菜ゴロゴロ「おふくろの味」と言えるあのカレーだ。

カレーの歴史は実に奥深い。18世紀頃、インドを植民地支配していたイギリスに伝わり、その後イギリスのエッセンス（小麦粉でとろみを足す・スパイスをミックスしたパウダーの開発）を加えられ、それが幕末〜明治時代の頃に日本に辿り着いたそう。日本最古のカレーには蛙をいれていたという事実も刺激的だ。そして、その後さらに日本風にアレンジされ、老

舗洋食屋などで人気メニューとなる。当時、軍隊の発展も著しく、肉と野菜を同時に食べられるバランス食として用いられたことも、のちに人気国民食となる大きな要因のようだ。カレーが普及している殆どの地域で、豚肉はタブーとされている国が多いのに対し、日本のポークカレーはまさにカレーの代表選手だ。オリジナリティの高さと理解できる。

因みに、カレーの本場インド南部で3年ほど前に、遺跡発掘現場から紀元前2500年ほどの「カレーの祖先」が発見されたようで、我々人間はなんと4500年ものあいだカレーを食し続けているという事実も驚きだ。

人が長い間カレーを食べ続ける理由の一つとして考えられるのが、スパイスの効力、つまり、健康への好影響だ。カレーは香辛料のオーケストラと言われる程、豊富な種類のスパイスから作られている。そのスパイスの一つ、「ウコン」という名で知られているターメリックには、クルクミンという成分が多く含まれている。このクルクミンが生活習慣病の予防や抗がん効果、さらには老化防止に効

くというのだ。事実、多くのスパイスを日常的に摂取しているインドではアルツハイマーにかかる率が非常に低いという研究結果がでている。二日酔いに効果があるだけではない。まさに「奇跡」のスパイスだ。

生命力をアップさせる効果の他に、カレーの最大の魅力は豊富な具材にマッチすること、そして種類の多さだと思う。北海道のタコカレー、島根のサザエカレー、熊本の馬肉カレーと地域の特産物を取り入れたご当地カレーも挙げればきりが無い程だ。世界のカレーに至っては、小宇宙な規模だろう。地域性といえば、カレーの中に入れる肉にも表れている。東日本は豚肉が多く、西日本は牛肉。西日本の日本海側は鶏肉が多く用いられるようだ。我が家もチキン派である。

カレーと新潟の関係性もおもしろい。県外に行く機会が増えたことで気付いたのだが、県内のホテルの朝食バイキングはカレーが必ずと言っていいほど用意されている。幕末、日本で開港した5つのうちの一つが新潟港であり、いち早くカレーの魅力が伝わったから

かもしれない。現在、新潟県のカレーの消費量は全国トップレベルだ。新潟が米どころというのも要因の一つかもしれない。カレーにあう美味しい白米。真っ白な炊き立てのほかに香るご飯の甘い香りと黄色い食欲をそそるスパイスの香り。このコントラストこそが新潟県民をカレー好きにさせるに違いない。

さらに、新潟県は共働き世帯の割合が高く、離婚率の低さも全国トップだ。家庭と仕事を両立させ、忙しい合間に手取り早いカレーを作る。カレー人気はそんな歴史と風土の軌跡の集結なのだ。私はやはりカレーが大好きだ。

